

## 添 付 資 料

### 2. 決算報告書

平成18年度 決算報告書

国立大学法人高知大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	10,286	10,286	-	
施設整備費補助金	920	952	32	(注1)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	-	34	34	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	59	59	-	
自己収入	13,815	14,545	730	
授業料、入学料及び検定料収入	3,322	3,298	△24	(注3)
附属病院収入	10,347	11,018	671	(注4)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	146	229	83	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	833	1,009	176	(注6)
長期借入金	853	853	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	39	2	△37	
目的積立金取崩	624	373	△251	
計	27,429	28,113	684	
支出				
業務費	19,542	19,470	△72	(注7)
教育研究経費	9,952	9,677	△275	
診療経費	9,590	9,793	203	
一般管理費	4,057	3,386	△671	(注8)
施設整備費	1,832	1,864	32	(注9)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	-	34	34	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	832	888	56	(注11)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,166	1,172	6	(注12)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	27,429	26,814	△615	
収入-支出	-	1,299	1,299	

(注) 記載金額については、百万円未満を四捨五入して表示している。

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、予算計画時に計画していなかった災害復旧経費及び補正予算による施設整備費補助金を計上したため、予算額に比して決算額が32百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算計画時に、計画していなかった補助金（保健事業補助金等）を受け入れたことにより、予算額に比して決算額が34百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、予算計画時の収容定員を若干下回ったため、予算額に比して決算額が24百万円少額となっています。
- (注4) 附属病院収入については、手術件数の増加等により予算金額に比して決算額が671百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として消費税等の還付金、科研費補助金間接経費の受入増加等により、予算金額に比して決算額が83百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算計画時に予定していなかった国の各組織、特殊法人及び民間からの受託研究の獲得や寄附金の獲得に努めたため、予算額に比して176百万円多額となっています。
- (注7) 業務費については、教員の人件費の削減や附属病院の診療経費の節減等により、予算額に比して決算額が72百万円少額となっています。
- (注8) 一般管理費については、職員の人件費の削減や事務経費の節減に努め、予算額に比して671百万円少額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が32百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が34百万円多額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が56百万円多額となっています。
- (注12) 長期借入金償還金については、予算計画時に計画していなかった利息の支払い増加により、予算額に比して決算額が6百万円多額となっています。